

深圳レポート

2020年のグローバルおよび中国の ビジネスインテリジェンス業界の発展現状の分析

ビジネスインテリジェンス業界の浸透率は増加し続け、2019年中国国内市場規模は20億元（約300億円）以上の見込みである。

ポイント：

- ビジネスインテリジェンスの定義
- 中国のビジネスインテリジェンス業界は成長段階にあり、急速な成長を見せている。
- 中国市場はレポート分析ソフトウェアを主とし、企業競争力は上昇傾向にある。

参照サイトURL：

<https://bg.qianzhan.com/report/detail/300/200508-654b42eb.html>

ビジネスインテリジェンスの定義

ビジネスインテリジェンス（Business Intelligence、略称：BI）は、企業の意思決定分析をサポートするソフトウェア、テクノロジー、およびメソッドを指すものである。1989年、Gartner社は最初にBIの概念を提案した。これは、企業が意思決定を支援するために、データウェアハウス、クエリレポート、データ分析、データマイニング、データバックアップとリカバリなどで構成されるテクノロジーとそのアプリケーションとして定義されたのである。

Gartner社が発表したデータによると、2018年、グローバルビジネスインテリジェンスおよび分析ソフトウェアソリューションの市場規模は216億米ドル（約2兆3000億円）に達し、前年比11.7%増加した。このうち、最新のBIプラットフォームは最も速い成長率を示しており、成長率は23.3%となっていて、続けてデータサイエンスプラットフォームは成長率が19.0%に達している。2019年にグローバルの市場規模は、約237億米ドル（約2兆5000億円）になると予想されている。

2016-2019年全球商业智能和分析软件解决方案市场规模统计及增长情况预测



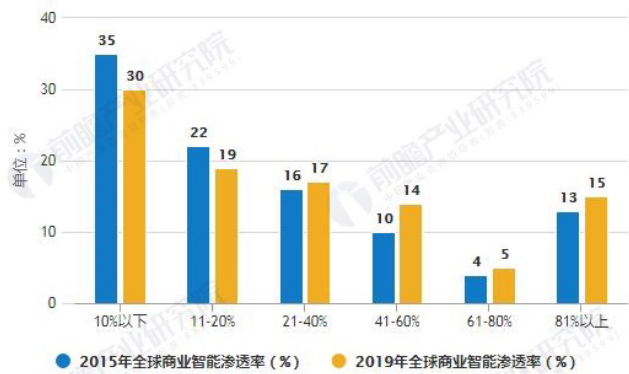
资料来源：前瞻产业研究院整理

© 前瞻经济学人APP

▲2016-2019年のグローバルビジネスインテリジェンスと
分析ソフトウェアソリューションの市場規模統計および成長予測
データソース：前瞻産業研究院

2015年から2019年まで、ビジネスインテリジェンス市場は継続的かつ前向きな開発プロセスを経験しており、ビジネスインテリジェンスの浸透率は時間とともに増加し続けている。

2015年-2019年全球商业智能解决方案渗透对比情况



资料来源：前瞻产业研究院整理

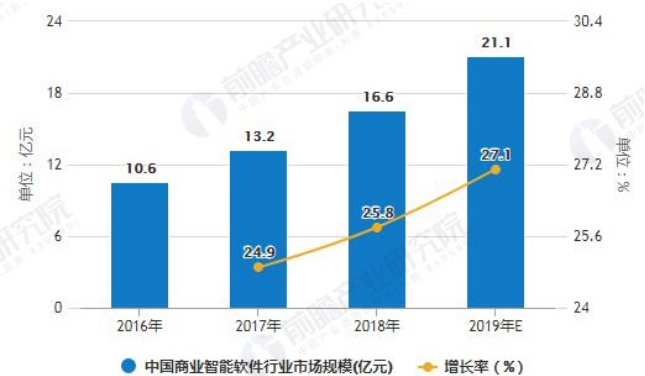
©前瞻经济学人APP

▲2015-2019年のグローバルビジネスインテリジェンスソリューションの市場浸透率比較状況
データソース：前瞻産業研究院

中国のビジネスインテリジェンス業界は成長段階にあり、急速な成長を見せている。

2018年の中国のビジネスインテリジェンス(BI)ソフトウェア産業の規模は約16.6億元(約250億円)で、前年比25.8%増加している。将来的な中国のBI産業の発展潜在力は巨大である。2019年には、中国のビジネスインテリジェンス(BI)業界のソフトウェア収益の規模は約21億元(約316億円)となっており、成長率は27.1%と予測されていた。

2016-2019年中国商业智能(BI)软件行业市场规模统计及增长情况预测



资料来源：前瞻产业研究院整理

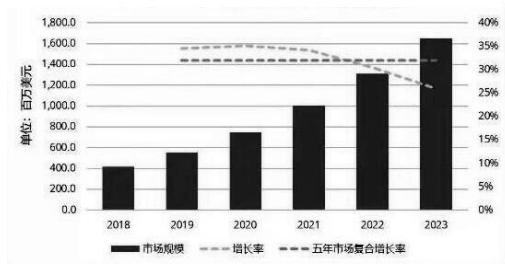
©前瞻经济学人APP

▲2016-2019年中国ビジネスインテリジェンス(BI)ソフトウェア業界の市場規模統計と成長予測
データソース：前瞻産業研究院

注釈：市場規模はソフトウェア販売収益のみで、プロジェクトの実施、プロジェクトの運営などを除いた数字である。

IDCのデータにより、2019年上半期の中国のビジネスインテリジェンスソフトウェア市場の規模は2億1,000万米ドル(約226億円)で、前年同期比24.6%増加している。2019年全体では、中国のビジネスインテリジェンスソフトウェア市場の規模は、5億5,000万米ドル(約592億円)で、前年同期比34.5%増加となった。2023年までに、中国のビジネスインテリジェンスソフトウェア市場の規模は16.5億米ドル(約1700億円)に達すると予測されており、市場全体の年平均成長率(CAGR)は、今後5年間で32.0%になると予測されている。

2018-2023年中国商业智能软件市场规模统计情况及预测



资料来源：公开资料、前瞻产业研究院整理

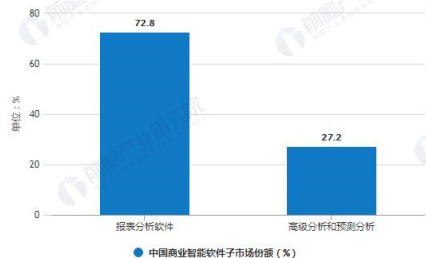
©前瞻经济学人APP

▲2018-2023年の中国のビジネスインテリジェンスソフトウェア市場規模の統計と予測
データソース：前瞻産業研究院

中国市場はレポート分析ソフトウェアを主とし、企業競争力は上昇傾向にある。

中国のビジネスインテリジェンスソフトウェアのサブマーケットでは、レポート分析ソフトウェアが依然として市場で最も需要が高く、2019年上半期の市場シェアは72.8%を占めており、高度な分析と予測分析は、27.2%を占めている。

2019年H1中国商业智能软件子市场结构分析情况



资料来源：前瞻产业研究院整理

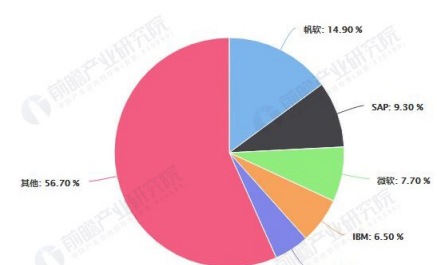
©前瞻经济学人APP

▲2019年上半年中国ビジネスインテリジェンスソフトウェアのサブマーケット構造分析
データソース：前瞻産業研究院

企業の競争という点では、近年、ビジネスインテリジェンス業界への参入企業が増えている。2018年には約50のBIツールとベンダーが活躍しており、2017年の42を上回り、過去2年間で多くの製品が市場に投入された。

中国のビジネスインテリジェンス市場のマタイ効果(Matthew Effect)はすでに現れている状況にある。「IDC」が発表したデータによると、2019年上半期に帆软(FanRuan)は14.9%の市場シェアでトップにランクされている。近年、帆软(FanRuan)は継続的にエコロジカルパートナーの構築を強化し、業界市場を深め、市場規模は拡大し続けている。「SAP」と「Microsoft」はそれぞれ9.3%と7.7%で2位と3位にランクされていた。「IBM」と「SAS」は、金融業界で長期的なユーザー基盤があり、それぞれ6.5%と4.9%で4位と5位にランクされている。

2019年H1中国商业智能软件企业竞争格局分析情况



资料来源：前瞻产业研究院整理

©前瞻经济学人APP

▲2019年上半年中国のビジネスインテリジェンスソフトウェア企業の市場シェア状況
データソース：前瞻産業研究院

リモートワーカーと企業を完全オンラインでつなく注目領域

社名	爱赛因斯（北京）科技有限公司		英語名	Pmcaff Co. Ltd.	
代表者	陳建闽		URL	https://www.nework360.com/	
所在地	北京市朝陽区阜通東大街 18 号 2 層				
売上 (RMB)	N/A	従業員（人）	52	創業年	2015.04.02
資本金 (RMB)	142 万（約 2,100 万円）				
サービス内容	オンライン完結のフリーランサー斡旋と総合的サポート「Cloud teammate」				



グローバル人材のデータベースから、依頼企業にふさわしいAIによるフリーランス人材の紹介を行う「Cloud teammate」を運営。面接から業務のサポートまですべてオンラインでサポート。

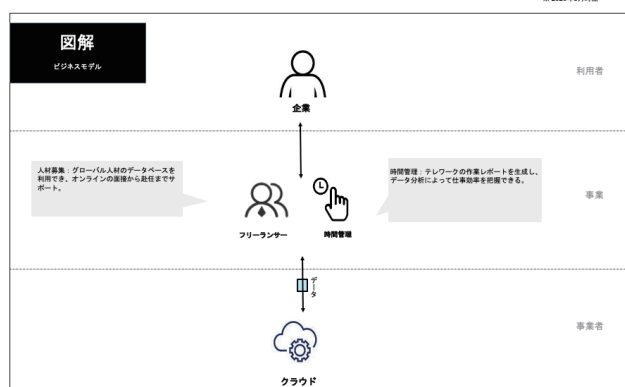
フリーランサーの柔軟な勤務時間に対応するように、業務管理システムを使用しフリーランサーの仕事の品質を管理。時間生産性レポートを作成しクライアントに報告。フリーランサーの円滑な業務をオンラインでサポートできる体制を持っている。

時間生産性レポートとは、主に時給制フリーランサーの作業画面を管理することで、依頼した業務を想定時間内に無駄なく行われているかを報告すること。具体的には作業時間中、フリーランサーの作業内容のスクリーンショットが録画されるシステム。

自社プラットフォームにはオンライン決済、マッチング、注文管理、時間生産性管理以外に、支給保証と労務紛争処理システムなどもあり、雇用プロセスの安全性と円滑性が確保されている。

	Cloud teammate	一般雇用	アウトソーシング
適任者を探す時間	0～3週	1～4か月	1～3か月
募集にかかる費用	無料	8万～30万円/月	無料
仕事能力を保障	✓	×	×
人材マッチングの失敗率	非常に低い	低い	高い
契約中止にかかる費用	無し	高い	無し

Cloud teammate：リモートによるフリーランス管理 図 2020年5月時点



■業界ポジション:高効率、低コスト、中小企業に最適なリモート仕事管理プラットフォーム

同社は、前身のアウトソーシングサービス会社から部門独立し設立された。そのため取引先に招商银行、美团(デリバリー事業)、Didi Taxi(タクシー配車)、NetEase(ネットゲーム)、DJI(ドローン)等の大手企業を抱えており、すでに数多くの優秀人材のマッチング実績と独自のデータベースがある。

同社のサービスを利用した場合、利用会社の人材コストが平均60%削減され、最速3時間以内、平均6時間内に適切な人材マッチングが可能である。

コロナウィルス期間に、Cloud teammateのリモート作業のニーズが700%増加した。現在6.9万人の求職者に登録され、約1万件の仕事を公開した。

2018年、シリーズA+の資金調達を完了した。



▲ユーザー画面

▲支給計算



▲時間生産性管理システム

突撃！ 深圳の高級マンション探訪

知り合いの女社長から2年前に購入した建築中の新築分譲マンションの引き渡しのできたので、見学をしないかという誘いを受けて、いざ、「突撃！深圳の高級マンション探訪」です。

辿り着いたのは中国の有名な不動産大手「万科」社が深圳の中心街福田区で開発した高級ブランドマンションです。

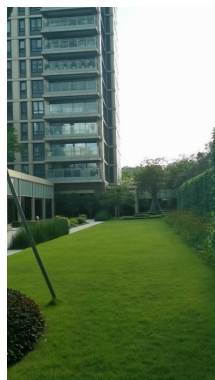
コロナショックで、経済全般が影響を受けているこのご時世でも、深圳の不動産の価格は依然として下がっていないようです。このマンションの面積は240㎡で2年前の購入価格が2,000万人民币元(約3億円)だったのが、2020年6月現時点は何と3,800万人民币元(約5.5億円)に値上がりしていました。女社長曰く、結果的にこの2年間、不動産の投資は本業よりもかなり利益率が高い商売になったようです。

ちなみに深圳の過去20年のマンション価格の上昇率ですが、驚くことに1,000%以上を超えています。2000年当時は5,000元/㎡の平均相場が50,000元/㎡となっています。

二十年深圳房价走势图



▲出典：搜狐焦点



▲裏庭



▲エレベーターホール



▲中式キッチン



▲洋式ダイニング
(ワインセラー付き)



▲オープンと冷蔵庫
(右と左の白い壁は
冷蔵庫のドア)



▲ダイニングの一部
(大理石はイタリア
輸入品)

唯来企業管理諮詢（深圳）有限公司
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日
本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティング
に定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



また、2020年6月現在の福田区の中古マンションの平均相場は55,669元/㎡であり、前年比+3.44%となっています。コロナの影響による先行き不安もあり、資金が不動産市場に流れ込んでいるのが分かります。

このブランドマンションの場合、各フロア2戸のみの設計となっていますが、エレベーターは何と3基が利用できます。1基はお手伝いさんと宅配専用だそうです。

また、中国のマンションによくあるスケルトンの家をオーナーが自分の好みによりそれぞれ内装するものではなく、予め内装と一部の家電(ドイツ製)は備え付けとなっています。

プライバシーの関係で、残念ながらウォークインクローゼットやベッドルーム、お風呂等の写真は共有できません。

中国の高級不動産の設計と内装は輸入品に拘っていますが、水回りを含め日本のブランドが採用されていないのは非常に残念です。不動産業界への外資系参入はまだまだ障壁が高いですが、いつか日本企業の内装とデザインが中国不動産業界と本格的に関わる日がくることを願っています。

最後に、さすが中国式だと思ったのは富裕層の近所付き合いです。日本は管理会社が文書でマンションの入居者に連絡事項を伝えるのに対し、中国はスマートフォンのグループチャットを使用しています。グループチャット内のご近所さんに積極的に自己紹介して、徐々に仲間の輪を広げているようです。5億以上の高級マンションに住めるのは経営者か高額所得者が多いので、子どもたちの英才教育から仕事関連まで幅広く交流できるのでしょう。

以上、深圳のお宅、探訪でした。

(レポートは2020年5月29日現在の情報)



深圳未来创新服务中心
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区軟件産業基地5E棟522号 518061
TEL:86-135-3089-3085
<https://micsz.jp/>